

10.九州（地域別調査機関：（財）九州経済調査協会）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる	コンビニ（販売促進担当）	・量販店の特別セールスの頻度が高くなっている。また、クリスマスケーキ、生もち、オードブル等の注文が多くなっており、売上も前年をクリアする。
		乗用車販売店（管理担当）	・買換え需要や新卒者の新ユーザーの受注等、客の購入意欲が増している。
		住関連専門店（店長）	・日用消耗品の売上が伸びており、今後、気温が下がるとシーズン品が良く売れるようになる。
	やや良くなる	一般小売店〔鮮魚〕（店員）	・近隣の地元スーパーが廃業し、遠くまでいけない客が当店に流れる。
		スーパー（店長）	・来客数は伸び、価格にかかわらず良いものが売れている。衣料品は気温の冷え込みに伴い、バーゲン品ではない正価販売品の売行きが非常に堅調になっている。
		家電量販店（店員）	・これまでより大型の薄型テレビやDVDが売れ始めており、やや良くなる。
		家電量販店（店員）	・12月1日の地上デジタル放送開始に伴い、薄型テレビへの需要が喚起されている。買い控えが起こっている。パソコンの新しいOSも年明けには動くため良くなる。
		家電量販店（総務担当）	・12月1日の地上デジタル放送の開始に伴い、薄型テレビ等のAV商品が活発に動く。
		その他飲食の動向を把握できる者	・歳暮時期は例年以上に買物で出歩く人が増え、街が活性化され、それに伴い店も潤う。
		観光型ホテル（経営者）	・2月の予約状況が前年に比べ大幅に伸びているため、売上は伸びる。
		観光型ホテル（営業担当）	・地域内で交通アクセスの整備や観光施設の整備が行われ、今後さらに充実されるため、来客数が増える。また、大型商業施設等ができるなど、地域の動きが活発化しているため今後は良くなる。
		都市型ホテル（スタッフ）	・飲酒運転自粛が続くものの忘新年会需要は根強いと予想されるため、良くなる。
タクシー運転手		・忘年会のシーズンになり、予約が取れない飲食店がたくさんあると聞く。仕事が忙しくなり、年が明けてもこの状況は続くだろうと話す客も多い。	
通信会社（業務担当）	・携帯電話の番号ポータビリティが客に認知されつつあり、新商品が出そろい、ワンセグ放送も一部スタートし、年末商戦は盛り上がる傾向にある。来客数、販売台数共に上昇する。		
住宅販売会社（従業員）	・キャンセルが出てもすぐに新しい客の新しいプランが発注されるなど、良い状況が続いており、景気は良くなる。		
変わらない	商店街（代表者）	・大型商業施設の影響で来客数がだんだん減っている。	
	商店街（代表者）	・スーパーの競合が激しいが、商店街は駐車が不便なため客が寄りつかない状況が続いている。	
	一般小売店〔茶〕（販売・事務）	・お歳暮ギフトや個品の割引きをしているが、デパート等で買い求める客が多く、当店での上は期待できない。味も工夫し、新商品も販売しているが伸び悩んでいる。	
	百貨店（売場担当）	・婦人衣料のヒット商品がなく、急激な冷え込みがない限り、厳しい状態が続く。	
	百貨店（売場担当）	・暖冬により重衣料等の売上減少の不安があったが、婦人衣料品は前年比を上回っており、良い状況である。ただ前年はコートが前年比130～140%と、大きな伸びを示していたので、反動減が予想される。食料品の動きは安定しており、家庭用品は引き続き動きが鈍いと予想される。	
	百貨店（業務担当）	・昨年は12月に冷え込み、売上を確保したが、今年は暖冬ということもあり、かなり厳しい商況が予想される。	
	その他専門店〔ガソリンスタンド〕（統括）	・燃料油の小売価格は落ち着いてきたが、個人消費のマインドはさほど上がっていない。冬の寒さによる需要増と個人消費の回復が期待される。	
	一般レストラン（スタッフ）	・例年に比べ、予約状況があまり良くない。	
	スナック（経営者）	・固定客に支えられている状態で、今後、新規の客が増えなければ厳しい状態が続く。	
	都市型ホテル（副支配人）	・客単価はなかなか上がらないが、出張ニーズがどんどん増えている。	

	旅行代理店（従業員）	・年末年始はハワイ、グアム、東南アジアを中心に前年比110%以上となっている。日並びは良いが、ヨーロッパやオーストラリアが前年比を下回っており、国内は全般的に出足が鈍い。	
	旅行代理店（業務担当）	・海外旅行の先行受注状況が前年を下回っている。	
	タクシー運転手	・今年は公務員の飲み会の自粛で、忘年会、新年会が期待できない。	
	ゴルフ場（従業員）	・1月中旬までは比較的堅調な予約状況であるが、下旬から2月にかけて動きが鈍くなる。	
	設計事務所（代表取締役）	・民間の建設需要は、ソーラーハウスやマンション等の環境重視型や住宅のリフォームなどの需要はあるが、全体の建設需要としては限られている。	
やや悪くなる	商店街（代表者）	・中心商店街から外れた商店街は家賃が安く、新たに商売を始める人の出店場所であったが、郊外の大型店の影響が大きく、従来の売上が確保できず、閉店する店が目立つ。	
	商店街（代表者）	・消費が低迷しているのに加え、来月には商圏に大型商業施設が開店し、いよいよ商店街に客が来なくなる。タクシーの運転手も乗客が少なく、厳しい年末になると話す。	
	一般小売店〔青果〕（店長）	・年末商戦を控え、ギフト商品の相場が全く上がらない。年末もこのような厳しい状態で動く。	
	百貨店（営業担当）	・不必要なものは買わないという消費者が多く、商品対策をしっかりとしていけないと購買には繋がらない。百貨店は厳しい状態が続く。	
	百貨店（営業担当）	・現金購入の比率が落ち、クレジットの扱いのみが増えている。クレジット催事が好調で支払いの先延ばしによる買物が増えている。所得の伸びがなく、消費への不安は募っている。	
	スーパー（店長）	・暖冬により、冬物商品の販売量が伸び悩んでいる。このまま続くと、冬物の食料品もなかなか伸びない。	
	衣料品専門店（総務担当）	・貴金属、着物は前年をやや上回っているが、主力の婦人、紳士服等の衣料品の売上が前年比でマイナスとなっている。	
	乗用車販売店（従業員）	・トラックの受注が伸びず、大変厳しい状況である。	
	住関連専門店（経営者）	・地場大手の家具運送会社が民事再生法の申請を行った。家具業界は依然として厳しい。	
	高級レストラン（専務）	・郊外に競合店がたくさん開店し、ますます中心市街地は寂れている。	
	タクシー運転手	・歓楽街の客の動きは鈍く、タクシーを利用する客もかなり減っている。	
	通信会社（管理担当）	・正社員数が減り、給与の安い派遣社員がわが社でも増えており、厳しい状況である。	
通信会社（企画担当）	・自社サービスの競争力が低下している。		
悪くなる	スーパー（企画担当）	・当面は直近オープンの中堅スーパーマーケットや大型ショッピングセンターに加え、近々オープン予定の地場ショッピングセンターの影響で来客数の減少が予想され、苦戦を強いられる。	
	高級レストラン（経営者）	・忘年会の予約が昨年の半分くらいしか入っておらず、年明けの予約もほとんど入っていない。	
企業動向関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	金融業（営業職渉外係）	・地上デジタル放送開始に伴い、テレビの買い替え需要が見込まれる。番号ポータビリティ制度導入により、携帯電話の買い替え需要も見込まれる。
		不動産業（従業員） その他サービス業〔物 品リース〕（役員）	・引き続き、市内の不動産取引価格が上昇傾向である。 ・引合件数が増加しており、今後しばらくは上昇する。
変わらない	食料品製造業（経営者）	・受注量は前年比で減少しており、主要取引先の集客状況も芳しくないことから、前年割れのまま推移する。	
	窯業・土石製品製造業（経営者）	・燃料のガスが高止まりであり、原材料価格等も上昇しているが、単価の値上げは出来ず厳しい状況が続いている。	
	鉄鋼業（経営者）	・民間の建築物はマンションやIT関連施設の増設、自動車関連等が引き続き計画されており、建築需要は今後も堅調に推移する。	
	輸送業（従業員）	・軽油価格が値下がり傾向であるが、ここに来て商流貨物の荷動きが悪くなっている。費用は低下するが、売上も少し下り坂にある。	

		通信業	・公共工事の減少や談合問題などが長引けば、悪い影響が出てくる。
		金融業（営業担当）	・客は、家計の余分な資金を保険による運用にまわす様子がない。
		新聞社（広告）	・百貨店や流通各社に元気がない。近隣のテナントビルも1月に閉店を迎える。
	やや悪くなる	繊維工業（営業担当）	・暖冬のため、大量の在庫が発生し、生産が圧迫されていく。
		建設業（総務担当）	・年末にかけて手持ちの工事が終わり、一部の長期工事を除き、今後手掛ける工事が全くない。
	悪くなる	経営コンサルタント	・生き残りをかけた量販店の統合が始まる。酒規制緩和にて一般酒販店は倒産に追い込まれ、もはや酒販店ではなくなっている。
雇用 関連	良くなる	民間職業紹介機関（職員）	・雇用状況は日々改善傾向にあり、多業種、多職種にて求人が広がっている。中堅から管理者クラスの求人が増え、キャリアのある人材については大きなチャンスとなっている。今後も需要と供給のバランスを取りながら、企業、登録者両者の対応が必要となる。
		民間職業紹介機関（支店長）	・情報通信系業界、商社・卸系の求人需要に加え、製造業からの需要が高まりつつある。メーカー直販の営業・販売職の需要は今後も増加する。
	やや良くなる	人材派遣会社（社員）	・企業の求人数が増えてきた。また形態も正社員など安定雇用が見込まれてきた。
		職業安定所（職員）	・人材確保の意味でも、雇用の気運が高まっていく。
		民間職業紹介機関（社員）	・例年、年末商戦、年度末決算案件等により市況が活発になり人の動きが増大する。
	学校〔大学〕（就職担当者）	・求人数の動向は現状と変わらないが、2008年3月卒業対象の求人活動は今後一挙に活発になる。	
	変わらない	人材派遣会社（社員）	・当社、同業他社ともスタッフ不足のせいか、他社のスタッフの交代、補充に伴う派遣のケースが多くなっている。また、中心街でなく周辺都市及び郊外型ショッピングセンターへの販売応援の依頼が多いが、通勤できるスタッフが確保できず、成約は難しい状態である。
	やや悪くなる	-	-
	悪くなる	-	-